

## 全国及び岡山県学力・学習状況調査結果の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p>&lt;成果&gt;            ○昨年度の全国平均正答率との比較で、国語科、算数科ともに、基礎（知識）・活用が大幅に伸びた。            ○国語科では、「書くこと」、「読むこと」の正答率が、基礎（知識）・活用ともに大幅に伸びた。            ○算数科では、「図形」の正答率が、基礎（知識）・活用ともに大幅に伸びた。</p> <p>&lt;課題&gt;            ▲算数科、理科は上位層と下位層の差が大きい。            ▲理科は、知識を問われる問題が苦手で、前年度までの内容が定着していない。            ▲算数科では、円の直径と円周の関係、百分率など数量関係についての理解が不十分である。            ▲国語科では、目的や意図に応じて考えをまとめたり、話し手の意図を捉えたり、自分の考えと比べたりして聞くことが苦手である。</p>	<p>&lt;成果&gt;            ○「自分にはよいところがあると」答えた児童や、「先生から認められている」と感じている児童がどちらも大幅に伸びた。            ○時刻を決めて寝たり起きたりする児童が多くなり、正しい生活習慣が身に付きつつある。            ○平日に1時間以上勉強をする児童は100%である。</p> <p>&lt;課題&gt;            ▲「将来の夢や目標をもっている」児童が昨年同様75%にとどまっている。            ▲「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表できている」と思っている児童が少ない。</p>

## 改 善 策

## 学 校 での 取 組

- ①授業改善 ○自分の考えを相手に分かりやすく伝えることができる児童を育てる。
  - ・自分の考えの根拠、資料となる絵や写真、実験結果や例などを挙げて分かりやすく伝えるよう指導する。
  - ・1～3年生では、声の大きさや姿勢、順序やつなぎ言葉などを指導し基礎的な力を養う。
- ②補充学習 ○朝の学習の内容を見直し、苦手問題を克服する。
  - ・全学年を対象に、学力テストで正答率の低かった問題を中心に、フォローアッププリントや県のトライシート、たしかめプリントなどを実施し、弱点克服に重点をおいた朝の学習の取組をする。
- ③家庭学習 ○家庭学習に前学年までの復習を取り入れる。
  - ・全学年を対象に、学力テストで正答率の低かった問題を補充するためのプリントを、家庭学習（音読・漢字、計算、自主勉強）に加え、前学年までの定着していない内容の復習を繰り返す。

## 中 学 校 区 での 取 組

- ・中学校の定期試験期間に合わせて家庭学習強化週間（「家庭学習がんばりカード」、「宿題忘れゼロウィーク」）を実施して、学習習慣・読書習慣の確立を図る。
- ・生活習慣強化週間「早ね！早おき！朝ごはん！金光 学力アップ大作戦チェック表」を行い、メディアコントロール力の伸長を含めた生活習慣の改善・定着を図る。
- ・中学校区の目指す子ども像「将来の夢に向かって、主体的・協働的に取り組む子ども」を設定し、共通・連続した取組を計画・実践する。

## 家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い

- ・家庭での学習習慣を身に付けられるようにしたり、メディアコントロール力の伸長を含めた生活習慣の確立を図ったりするために、「きびっ子ががんばりカード」に毎日目を通していただきたい。
- ・個に応じた学習支援や児童の安全確保をより一層進めるため、教科や総合等のボランティアティーチャーや放課後学習の補助などをお願いしたい。